

川口市こども未来計画素案 主な修正箇所一覧

No.	ページ	対応内容
1	—	目次を追加しました。
2	P10	「地域子ども・子育て支援事業の計画と実績」に数値を入力し、コメントを修正しました。
3	P19～20	「回答者数が極端に少ないグラフが掲載されている」とのご指摘を踏まえ、該当するグラフ（P19「【就学前】働いていない父親の就労希望」とP20「【就学前】育児休業期間の希望」）の分析コメントを削除しました。
4	P24	下段のグラフ「こどもの人口の推移」において対象とすることどもの範囲を、0～29歳に修正しました。
5	P25	小中学生の就学援助の実施状況を示すグラフを、要保護及び準要保護児童数の推移を示すものに修正しました。
6	P26	上段のグラフ「不登校児童・生徒数の推移」の令和5年度の数値を入力し、コメントを修正しました。
7	P26	下段のグラフ「年齢別未婚率の状況」を、令和2年時点での国、埼玉県、川口市の状況を示すものに変更し、分析コメントを修正しました。
8	第4章全般	各施策の冒頭に成果指標を記載しました。
9	第4章全般	トピックス記事を記載しました。
10	第4章全般	各事業の「ライフステージ」の列を削除しました。
11	P70	成果指標「未就園児等全戸訪問事業の実施率」の「現状」を修正し、事業の愛称を追記しました。
12	P72～73	「現状と課題」の6段落目（切れ目のない健康支援について）の文言を修正し、「取組」のうち「プレコンセプションケアの啓発」を「性と健康の相談」に変更しました。
13	P89	表題を「第3期川口市子ども・子育て支援事業計画」に修正しました。
14	第5章	新規三事業の追加、地域子育て支援拠点事業、親子関係形成支援事業の数値の修正を行いました。併せて、「一時預かり事業（保育所）」の量の見込みの算出方法に記載されていた※書きを削除しました。

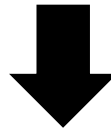
※上記のほか、軽微な文言修正等を行いました。

成果指標の修正について

修正箇所 基本目標 3（2）地域における子育て支援の充実（P 80、128）

（修正前）

指標名	現状	目標 (令和11年度)	担当課
<u>つどいの広場の利用者数</u>	139,614人	143,000人	子育て支援課



（修正後）

指標名	現状	目標 (令和11年度)	担当課
<u>つどいの広場の利用回数</u>	72,832回	143,000回	子育て支援課

（別紙）委員意見

1. 成果指標一覧 1-1-1 産後ケア事業の利用率について

国の令和7年度予算案では新たな加算がつき拡充方向となっているため、産後ケアへの期待度が伺えます。川口市でも目標値「前年度を上回る」とあります。しかし、産後ケア実施事業者においては利用者のニーズから安全性と満足度を両立させようとした場合、委託料だけでは損失となっており、助産所経営者の人件費を削ったボランティア精神で成り立っている現状です。国は受け皿の拡充をも明記していますが、今の委託料のままでは事業者の撤退や受け入れを制限、縮小していく方向になるのではないかと危惧しています。

2. 計画素案について

基本施策に対して【現状・課題】と【方向性】が示されており、読み手にとって分かりやすい記述になっていると思います。

p 72【現状・課題】最後から6行はこども大綱に記載されている文と同じです。川口市の課題も全く同様なのでしょうか？プレコンセプションケアは「栄養管理を含めた健康管理」といえばそうなのですが、川口市においては栄養管理に特に力を入れる方向なのでしょうか？栄養管理の他にも体重管理、運動習慣、嗜好品など含めて健康な生活習慣を身につけるヘルスケアです。

望む妊娠を叶え、望まぬ妊娠や性感染症を予防するために性や妊娠に関する科学的知識を身に付けることに加え、さらに、生まない選択や性の多様性等も理解し自他の性と生殖の健康を尊重することも重要です。自身が望む生き方・ライフデザインを描くという視点で国の定義より幅広く包括的な取り組みが必要だと考えています。

プレコンセプションケアについては教育機関と協働していく事が必要だと思います。

6行は一文が長いように感じます。「～に係る支援」という表現方法もビジネスライクに感じます。

【方向性】の最後3文は上段【現状・課題】で述べられている事の繰り返しになっています。ほかの施策のように分かりやすい表現がよろしいかと思います。